



2005・6・9

第39号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303  
TEL 03-3221-5075  
FAX 03-3221-5076

## 「有明講演会」を新たなステップに

### 朝日、毎日、東京に「意見広告」

「九条の会」は発足1周年を記念して7月30日、東京・有明コロシアムで講演会を開催します。そのために、13日には第2回目の「成功させる会」を開くなど、準備を急ピッチですすめています。

同時に、これを機会に、「九条の会」の存在をより多くの人びとに知ってもらい、あわせて有明講演会への参加をよびかけるため、6月18日付の朝日、毎日、東京の各紙に「意見広告」を掲載します。「広告」では「九条の会」メンバーの紹介とアピールの趣旨を紹介するほか、講演会への参加方法を発表します。また、有馬頼底(金閣寺・銀閣寺住職)、岡野加穂留(元明治大学学長)、岸田今日子(俳優)、品川正治(経済同友会終身幹事)、白柳誠一(カトリック枢機卿)、辻井喬(作家)、伏見康治(元学術会議議長)、湯川スミ(世界連邦全国婦人協議会会長)ら各氏が、講演会への参加をよびかけています。

### 募金運動の取り組みも広がる

なお、意見広告には、相当の費用を必要

とするため、事務局では3000万円を目標に、「九条の会」アピールの賛同者や各地、各分野の「会」、「九条の会」を支持する個人や団体の皆さんに募金をよびかけています。

すでに、事務局には、「まわりの人にもよびかけたいから、振替用紙と訴えを送ってほしい」、「『会』として取り組みを始めたが締切はいつか」などの電話が入っています(意見広告掲載後も、目標達成まで募金運動は続けます)。

すでに、ホームページで訴えを見て送金してくださった方、自分たちの集会で訴えて集まった募金を送金してくださった女性団体などがあいついで出てきています。郵便振替用紙にも、9条への熱い想いと講演会への期待が書かれています。そのいくつかを紹介します。

◇九条の会の活動にはげまされています。自分の身近で、自分のことばで自分らしさを大切に、やっていきたいと思えます。(川崎市・H夫妻)

◇現在の状況は恐ろしい限りです。改憲の動きが当たり前のようになっています。ひとりの力は小さいけれど、私も周りの人

に呼びかけて、少しでもこの会に協力していくつもりです。(福山市・I)

◇9条はわれわれが子子孫孫に誇れる宝です。守りぬきましょう。(清瀬市・H)

◇私たちは、「憲法を職場と行政に生かす」ことを基本にたたかってきた国公労働者として、「憲法9条『改悪』を中心とした『戦争する国』への転換を許すわけにはいかない」と、4月7日「国公退職者9条の会」を発足させました。「有明講演会」の成功を祈念します。(国公退職者9条の会)

《送金は下記にお願いします。》

00130-1-760316 九条の会意見広告

## 人権と正義を守る弁護士として

【滋賀】 4月28日、「滋賀・弁護士九条の会」が発足しました。よびかけたのは、獅山向洋氏(現彦根市長)、生駒英司氏(県弁護士会会長)らで、県弁護士会所属59人の弁護士のうち約半数の27人が名を連ねています。結成のアピールでは、「弁護士は基本的人権擁護と社会正義実現が使命。すべての基本的人権の前提ともなる平和を憲法9条の理念にしたがって実現するため、今こそ行動すべき」とし、今後、9条改悪反対の宣伝や学習会への講師派遣などに取り組むことにしています。

【和歌山】 5月13日、「憲法9条を守る和歌山弁護士の会」が発足しました。県弁護士会に所属する74人の弁護士のうち、半数を超える39人が参加しています。「憲法9条が果たしてきた役割や意義を広く世論に訴え、憲法9条改悪阻止のために全力を尽くす」とのアピールを採択し、今後、アピールへの賛同を広げつつ、学習会の講師活動等に取り組むことにしています。

【新潟】 4月に44人がよびかけ人となって「九条の会」アピールに賛同をよびかけましたが、うち15人が元弁護士会会長。また県内の弁護士の過半数が参加する「弁護士九条の会にいがた」も結成されました。

## 大阪空港に「9条の会」

「飛びたて憲法9条 世界の空へ」——5月20日、元パイロット、客室乗務員、整備士、グランドハンドリングなど約80人が参加して「大阪空港・九条の会」発足のつどいが開かれました。よびかけ人の元パイロットは、「パイロットの世界では9条を守らんと強く思う。日本の上空は米軍がおさえている。米軍艦船が入港するときの管制や沖縄の空をみても、自由に飛び回ることとはほど遠い」と語り、客室乗務員の女性は、「クウェートでパレスチナの方と友人になり『日本は9条をもつすばらしい国』といわれた。いまのマスコミのあり方を変えて、9条を守りたい」と発言しました。

### 一人のできることから…

「一人ひとりができるあらゆる努力」との「九条の会」アピールに応えるには——と考えたのは、大阪泉佐野市の藤岡誠さん。その結果、携帯端末サイト「ケータイ憲法」を作成しました。

サイトを開くと、「九条の会」アピール文、「あたらしい憲法のはなし」、日本語と英語の日本国憲法など。「若者をはじめ多くの人たちが『いつでも憲法と一緒』『憲法なら知っている』という状況をつくりたい」と藤岡さん。

<http://www.eonet.ne.jp/~mcfjok2/>